

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 08地域振興課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	790	事務事業コード	0826
事務事業名	地域振興イベント支援事業(企画一般経費)				開始年度	平成23	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市事業共済及び後援承諾に関する取扱要綱 佐渡市補助金等交付規則 佐渡市地域・観光振興イベント支援補助金交付要綱		
将来ビジョン	4. 安全・安心な地域づくり (3)過疎化に対応した地域づくり						H25: 重点●政策○	-
H26施政方針	1. 人口減少対策 (5)観光等交流人口の拡大						H26: 重点●政策○	-
H27施政方針	1. 人口減少対策 (3)特色ある地域づくり ② 地域資源を活用した活性化						H27: 重点●政策○	-
事業概要	島内6大祭りのイベント支援(補助金の交付、諸手続き補助、ヒアリング等) ①両津地区:両津七夕まつり・川開き、②相川地区:鉾山祭、③畑野地区:安寿天神まつり、④小木地区:小木港祭り、⑤羽茂地区:羽茂まつり、⑥赤泊地区:赤泊港祭り							
対象	地域振興イベント実施団体							
意図(対象をどのようにしたいか)	農林水産物及び伝統芸能等の地域資源を活用し、賑いを創出し地域を活性化する。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	事業実施団体数	件	6	6	6	6	6	6
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	両津七夕祭り・川開き		4,650		4,650	4,300	予算	減額	
	指標 補助率	%	40.85	50	42.11	50	事業	維持	
2	鉾山祭		3,600		3,700	3,860	予算	増額	◎
	指標 補助率	%	49.96	50	29.51	50	事業	拡充	
3	安寿天神まつり		1,550		1,550	1,540	予算	維持	
	指標 補助率	%	42.59	50	43.13	50	事業	維持	
4	小木港祭り		3,500		3,500	3,800	予算	増額	○
	指標 補助率	%	19	50	19.52	50	事業	拡充	
5	羽茂祭り		1,000		1,000	1,000	予算	増額	○
	指標 補助率	%	35.5	50	35.33	50	事業	拡充	
6	赤泊港祭り		3,500		3,500	3,500	予算	減額	
	指標 補助率	%	40.2	50	39.4	50	事業	維持	
事業費の合計(千円)			17,800		17,900	18,000			
財源内訳	国庫支出金		0		0	0			
	県支出金		0		0	0			
	地方債		0		0	0			
	その他		10,000		10,000	10,000			
	一般財源		7,800		7,900	8,000			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A: 適正である B: 検討の余地あり C: 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	両津七夕祭り・川開き	A	B	B	地域間の補助率の均衡を図るため昨年度から補助金額をゆるやかに削減しているところだが、事務局経費が捻出できない状況。経費削減に努めて対応いただくが事業の一部縮小もあり得る。事務局体制の現状から新しいメニューが出にくい状況。
2	鉾山祭	A	A	B	世界遺産登録に向けての機運醸成のため、イベント内容を変えつつあるが地域の協力体制が足りない状況。H27年度採用の地域おこし協力隊と商工会に期待する。
3	安寿天神まつり	B	A	B	経費削減に努めているほか、集客のため毎年イベントメニューを模索している。
4	小木港祭り	A	A	B	大口のスポンサーにより佐渡最大の花火大会に成長している。補助率の低さについて合併当初から要望が出ているが、大幅な増額は難しい状況であるため、H28年度を目標に補助率40%補助金額400万円を上限に補助していく方向。

5	羽茂祭り	A	A	C	地域の若者が積極的に協力し合い祭りを盛り上げている。 また、特色ある芸能があるため、島外からの来訪者とカメラマンが増えてきている。
6	赤泊港祭り	A	A	C	特色あるまつりを継続している。街並みも整備されたため「まち歩きメニュー」等に取り組ませ、人の流れをイベント会場および地域にまでひろげたい。

Action	◆今後の事務事業の方向性◆				
---------------	---------------	--	--	--	--

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	地域住民主体の地域活性化を図るために、地域イベントの継続は必要である。 当課で所管する6大祭りは、旧自治体において行政主導で実施してきた経緯があり、そのため、実施団体の体制整備等をすすめながら、補助金等による財政的支援や、人的な支援等は、当分の間継続していく必要がある。			